

2018年3月19日

課題名：90歳未満と比較した90歳以上の超高齢者総胆管結石症患者における内視鏡的乳頭ラージバルーン拡張術（EPLBD）の有用性と安全性に関する単施設後ろ向き研究

◆研究の目的と概要◆

現在、90歳以上の超高齢者に対する内視鏡的乳頭ラージバルーン拡張術（EPLBD）の有用性と安全性を90歳未満の患者さんと比較して明らかにするための研究を実施しています。この研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

◆対象となる患者さん◆

2014年1月から、2017年10月までの間に、総胆管結石症に対しEPLBDを施行された方。

◆研究に使用される情報◆

内視鏡施行日、年齢、性別、診断、術者、胆管炎合併の有無、内服歴、手術歴、総処置時間、挿管時間、挿管法、乳頭処置の方法、結石除去の方法、胆道ドレナージの有無、膵管ドレナージの有無、使用スコープ、総胆管結石数、総胆管結石径、治療回数、完全結石除去の可否、入院日数、偶発症

◆研究方法◆

本研究は診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
消化器内科 研究責任者 石川 将

E-mail： kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明